

フェンシング

## 関東学生リーグ戦

男子が総合3位

女子は総合5位でエペ1部復帰



関東学生フェンシングリーグ戦が4月16日から28日まで、駒沢屋内球技場で行われた。男子はサーブル2位、エペ3位、フルーレ4位となり、総合で3位となった。池澤春光主将（経営4・鳥取西工高）は「日ごろの練習の成果が発揮出来ず、悔いが残る大会となってしまった。この反省を生かし、次の大会での優勝を目指し、頑張ります」と話した。

女子はサーブル4位、フルーレ5位、総合で5位。また、エペは2部で優勝し、5月8日に行われた明治大学との入れ替え戦にも勝ち、1部復帰を果たした。

（矢口 蘭・文3）

馬術 東都学生

## 団体総合で3位

個人は武井、石澤、吉澤が優勝



第42回東都学生馬術大会が4月8日から10日までの3日間、JRA馬事公苑で行われ、専大は団体総合で3位入賞を果たした。

個人では新人障害飛越で武井慎弥（経済1・奈良高）が、ヤングライダー馬場馬術で石澤崇幸（経営3・帝京第三高）が、複合馬術で吉澤和紘（経営2・西宮香風高）がそれぞれ優勝。個人4部門のうち、3部門を制した。また、東都トーナメント最優秀選手に森裕悟（商4・関東第一高）が選ばれた。

（伊東 明希・文3）

アメフト 川崎シリーズ

## グリーンマシーン2校撃破



アメリカンフットボールのオープン戦・川崎シリーズが川崎球場で開幕した。専大グリーンマシオンは4月17日に東京工業大、5月5日に関東学院大と対戦し、いずれも勝利を収めた。

初戦の東工大戦は、前半こそ硬さが目立ちフィールドゴールの3点に終わったが、後半はオフェンス、ディフェンスともに冴え、終始相手を圧倒し、31―0と完封勝ち。

関東学院大戦は、前半に2本のタッチダウンを奪われ、0―14と苦しい展開になった。しかし後半に入ると実力を発揮し、14―14の同点から、終了間際に木村健太郎(法3・日大三高)がフィールドゴールを決め、17―14(全角)と逆転勝ちを果たした。4月から指揮を執る岡潔監督は「チーム力の向上を第一に、攻守ともに強化し、勝ちにこだわる試合をしたい」と語った。

(中川 泉穂・文2)

---

バスケットボール<男子>

## 京王電鉄杯で大宮が優秀選手賞獲得

京王電鉄杯10大学バスケットボールフェスティバルが4月23日から5月1日まで、トヨタ府中スポーツセンター体育館で行われ、昨年度、全勝優勝した専大だったが今年は5勝3敗1分けで4位に終わった。大宮宏正(経済4・作新学院高)が優秀選手賞を獲得した。

―昨年チームの核として活躍してきた小淵雅(経営4・太田工高)主将を中心とした4年次生がチームをしっかりと支える一方で、出場機会に恵まれた下級生の活躍が目立った。チーム一丸となって昨年果たせなかった学生王者復権に向けて突き進んでいる。

また、5月6日から8日まで、代々木第2体育館で行われた李相佰杯争奪日韓学生バスケットボール競技大会に大宮が日本選抜として出場。初戦で決勝点を決めるなどの活躍を見せた。

(松本 旬平・経済3)

---

## 日本女子学生選抜 バスケットボール大会



第22回日本女子学生選抜バスケットボール大会が4月22日から24日まで代々木第二体育館で行われた。昨年のインカレベスト8のチームがトーナメント方式で学生日本一を争うこの大会。専大はまさかの3連敗で8位に終わった。

児玉茂監督は「新チーム最初の公式戦で、課題ばかりが目立つ大会だった。これから戦っていく上で、戦術面の工夫が必要」と語った。

(久我 智也・文3)

---

焼津みなとマラソン

## 大学対抗ペアで4位 ハーフ学生は赤木が2位

第20回焼津みなとマラソンが4月10日、静岡県焼津市の新漁港をスタート・フィニッシュ地点として行われた。大学対抗ペアの部に伊深智広(経営4・磐城高)、辰巳陽亮主将(商4・洛南高)、平澤幸太(経済3・市立柏高)が、ハーフ学生の部に赤木淳一(商3・倉敷高)、永尾嘉崇(法4・藤沢翔稜高)が出場。

大学対抗ペアの部は各校3人がハーフを走り、上位2人の合計タイムで順位を争うレースで、伊深が1時間5分32秒で8位、辰巳が1時間6分7秒で14位に入り、総合で4位入賞を果たした。

ハーフ学生の部では赤木が1時間6分13秒で2位、永尾が1時間7分3秒で6位と健闘した。

辰巳主将は「納得のいくレースが出来なかった。次の大会では、もっと良い成績が残せるように頑張りたい」と語った。

(宮山 友希・文2)

---

専修大学相撲部出身力士激励会

## 新入幕 片山関らにエール

出牛理事長はじめ250人出席



専修大学相撲部出身力士の激励会が4月25日、東京都新宿区の「京王プラザホテル」で開催された。発起人代表の溝田誠吾相撲部長をはじめ、日本相撲連盟の松村豊会長、阿武松親方や大学からは出牛正芳理事長ほか役員、教職員ら約250人が出席した。

12年間の現役生活を終えた藤島武人親方(元大関武双山)の労をねぎらい、夏場所で新入幕を果たした片山伸次関(平14商、前頭16枚目＝阿武松部屋)をはじめ、柳譲治関(平8商＝武蔵川部屋)、富士龍優関(平9商)、斎藤拓也関(平16経済)、中西健二関(平17経営＝以上阿武松部屋)のさらなる活躍を願って出席者全員がエールを送った。

---

ボウリング

## 手塚監督(昭53法)がプロテストに合格

ボウリング部監督で同部OBの手塚利勝さん(昭53法)が今春のプロボウラー資格取得テストに合格した。これで同部出身のプロ資格保有者は2人目。プロから直接指導を受け、関東学生リーグ戦での躍進が期待される。

---

## 専スポ部員募集中！

私たち体育会本部情宣局編集部(専スポ編集部)は、毎月1回「専大スポーツ」を作成し、発行しています。活動

は、各自が担当する部の試合取材し、写真を撮り、記事を書くといった流れです。ナマで見る試合は迫力があり、選手たちの緊張感が伝わってきます。毎週木曜日の昼休みに第1自治会館2階の部室でミーティングを行っています。カメラに興味のある人、スポーツ観戦の好きな人はぜひ、足を運んでください。

(編集長・伊東 明希)



【ニュース専修2005年5月号15面】